

「岸和田市公共交通検討委員会」ニュース

<NO.4> 発行 H23.8

★ 第4回検討委員会開催 ★

岸和田市では、昨年度（平成22年度）より、市内全域の公共交通サービスのあり方について考える「岸和田市公共交通検討委員会」を組織して、継続的な検討をおこなっています。

なお、今年度より委員のうち1名が退任され1名が交代されました。

平成23年8月12日には、今年度最初となる第4回検討委員会が開催され、市内公共交通空白地区の解消を目的としたコミュニティバスの試験運行実施に向けた検討、公共交通空白地区にお住まいの方のバス利用意向（潜在的需要）把握方法、および、試験運行実施の際の事業の評価手法・評価基準などについて議論されました。

本検討委員会では、今年度も計3回の検討委員会の開催を予定しており、引き続き岸和田市公共交通の課題解決・活性化に向けた施策などについて検討をおこなっていきます。

第5回検討委員会では、「コミュニティバス試験運行および事業評価項目・基準値の具体的な条件・設定内容など」について議論する予定です。

日時：平成23年8月12日（金）14:00～16:00

場所：岸和田市立中央地区公民館 3階講座室4



委員会開催風景

委員交代

（敬称略）

退任：昼間 光一（岸和田市町会連合会）



新任：^{うじがわ}宇治川 ^{きよはる}清治（岸和田市町会連合会）

委員出席状況

構成委員総数 9名 出席委員数 7名

協議のポイント

○コミュニティバス試験運行検討

- ・試験運行実施の主目的・条件
- ・住民利用意向（沿道潜在需要）把握方法 等

○事業評価手法・基準

- ・評価項目および評価基準値
- ・評価のための調査手法 等

岸和田市公共交通検討委員会ニュース 2011年8月発行

【編集・発行】岸和田市 まちづくり推進部 都市計画課

TEL 072-423-2121（代表） FAX 072-423-3347

「データのページ」 事業評価に用いる項目例について紹介します

コミュニティバスなどの試験運行・実証運行では、一定の運行期間におけるさまざまな指標を用いて事業の評価をおこない、その後の運行の継続・見直し・廃止などの判断をします。

事業評価に用いられる指標・項目の例としては、以下のようなものがあります。

【事業評価項目例】

評価項目例	評価内容
利用者数	運行するバスについて、1日あたり、もしくは、運行1便あたりの利用者数による評価をおこなう。
利用顕在化率	運行前のアンケート調査などにより把握した、沿道住民の利用意向やバスが必要という回答割合に対する、運行後の実際の利用率により、実際の必要性について評価をおこなう。
収支率	その路線の運行経費に対する運賃収入の割合を算定し、それによる評価をおこなう。
認知率	その路線の運行経路や運行時間などの情報について、沿道住民がどのくらい把握しているかをアンケート調査などにより把握し、その割合により評価をおこなう。
利用者満足度	実際にバスを利用した人へのアンケート調査を実施し、運行内容について満足している人の割合で評価をおこなう。
協働の取り組み回数	沿道地域住民による、利用促進PR活動やバス停の清掃など、路線の活性化や存続のための活動状況・回数について評価をおこなう。
高齢者外出機会増加	バスの運行前と比較し、運行後に外出の回数が増えた人（特にお年寄り）の割合を調査し、バス運行によるお年寄りなどの引きこもり防止効果について評価をおこなう。

ちなみに、現在岸和田市で運行しているローズバスの利用者数・収支率・利用者満足度の実績値は以下のとおりです。

【ローズバス実績値】

項目	実績値	備考
利用者数	16.4人/便	平成19年～平成21年の平均値
収支率	20.5%	平成19年～平成21年の平均値
利用者満足度	63%	平成19年度実施の意向調査結果より